

第 18 回 CO2 環境対策技術研究会

日時：2014 年 1 月 23 日(金)13：30～16：00

場所：日本たばこ産業(株)

第 18 回研究会は、JR 宇都宮線宇都宮駅の日本たばこ産業(株)北関東工場の施設を見学した後、たばこの生産と北関東工場の環境対策についての講演をいただき、意見交換を行った。交流会は宇都宮駅周辺の「魚民宇都宮東口駅前店」で行った。

見学会・講演会への参加者は 16 名、交流会参加者は 15 名でした。

スケジュールと内容は以下のとおりである。

1. 集合：2014 年 1 月 23 日(木) 13 時 00 分 JR 宇都宮線宇都宮駅
2. 施設の説明と見学：13：30～15：00
会議室でビデオにより施設の概要説明を受けた後、2 班に分かれて、北関東工場のたばこの生産ラインを見学した。
3. 講演会：15：00～16：00 1階会議室
北関東工場の地球環境への取組みについて 北関東工場技術部長 熊谷 功様
4. 交流会：17：00～18：30 「魚民宇都宮東口駅前店」

1. 施設の見学：13：30～15：00

- 1) 1 階の会議室で業務サービス部長から挨拶があり、その後ビデオでたばこの生産についての概要を教えていただいた。

見学は管理棟から外には出ずに、廊下を通り、エレベーターで工場に入れる。ヘアネットの上に帽子をかぶり、靴カバーを付けて工場に向かう。工場の扉の前で手を洗ってから工場内に入り、たばこの生産ラインを 2 カ所見学させていただいた。

1 階会議室内と参加者



2) 北関東工場の概要

- (1)1977(S52)年に宇都宮工場と茂木工場を統合して清原工業団地内に作られた。
- (2)規模は 300m × 500m = 150,000m²
- (3)従業員は 700 人
- (4)製造部、品質管理部、技術部、業務サービス部の 4 部で構成
- (5)メビウスファミリー、ピアニッシモファミリー、セブンスターファミリーを製造
- (6)たばこの生産の概略の工程

たばこの葉の生産 乾燥 買入 調湿 乾燥・配合・熟成 製造工場

製造工場：ブレンド 香料添加 きざみ 乾燥・加香 貯蔵

製品工程：巻き上げ リザーバー 箱詰め 出荷 巻き上げ機 20,000 本 / 分

会議室内のたばこに関する資料を見る参加者



2. 講演会：15:00～16:00

「北関東工場の地球環境への取組み」 技術部長 熊谷 功様

北関東工場での取組みは以下のようなものである。

- 1) 超マspro工場である。 1985 年民営化時 35 工場 現在 6 工場
- 2) 環境管理業務にテコ入れ (2000 年頃)
- 3) ISO14001(2003 年)
- 4) 焼却炉の更新と廃止 (2002 年導入、2006 年廃止)
- 5) コジェネ (重油タービン) の導入と廃止 (1997 年導入、2003 年廃止)
- 6) NAS 電池の導入と廃止 (2004 年導入、2013 年廃止)
- 7) A 重油からガス 13A へ燃料転換 (2005 年)
- 8) 排出量
 - (1)CO₂ 排出量 18,662 t 3,700 世帯分
 - (2)廃棄物排出量 1,673 t 8,400 世帯分
- 9) たばこ製造と環境影響
 - (1)原材料工程 蒸気と水分 電気と圧縮空気
 - (2)製品工程 巻上機 1985 年 2,500 本 / 分 4,000 本 / 分

(3)CO2 低減プロジェクト (2011 ~ 2013 年)

空調が多い 原料と完成品の品質維持のため
新原料加工工程の導入に合わせて省エネ対策を実行

(4)廃棄物の内訳

段ボール	22.7%
紙くず	22.3%
たばこフィルター	15.6%
葉くず	15.4%

参加者の玄関前での集合写真



3. 交流会 : 17:00 ~ 18:30 「魚民宇都宮東口駅前店」

- 1) 参加者は、15名。
- 2) 会場は個室で他のお客が入らずに和気藹々の交流が出来た。



以上
(文責：内藤 堅一)